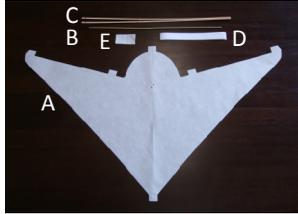


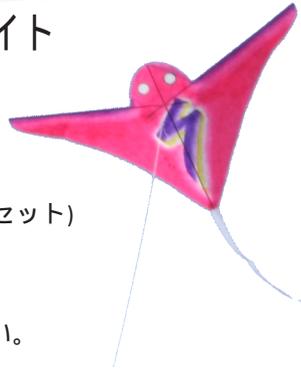
ブラシントン バードカイト

■ 内容物一覧



- A 本体（和紙） ……1
- B 縦骨 ……1
- C 斜め骨 ……2（1セット）
- D 紙しっぽ ……3
- E 補強紙 ……2

② 凧糸と接着剤は別途ご用意下さい。

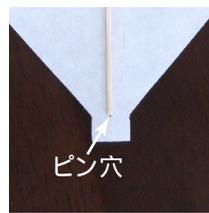
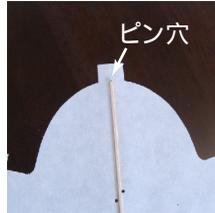
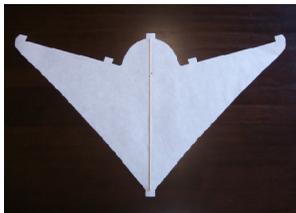


■ ブラシントン バードカイトの作り方

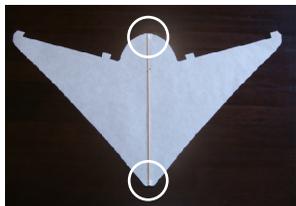


- 1 本体にはいくつかの目印の穴がありますので、確認して下さい。
 - ・一番上と下にピン穴があります。凧の中心を示し、縦骨を貼るとき目印になります。②
 - ・中心付近の左右に2つのピン穴があります。斜めの骨を貼るための目印です。
 - ・真ん中に大きな2つの穴があります。ここに3本の骨が交差し、凧糸を結びつけるための穴です。
- 2 本体に絵を描きましょう。表面のつるつるしている方が表です。その面に絵を描いて下さい。

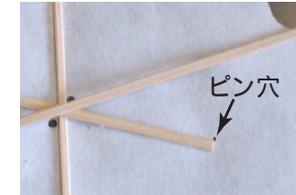
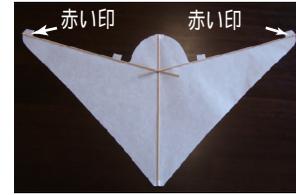
- 3 中心の骨（縦骨）を貼ります。骨は竹の皮の方（緑色の側）にノリを付け、ピン穴が竹の端にくるように置きます。



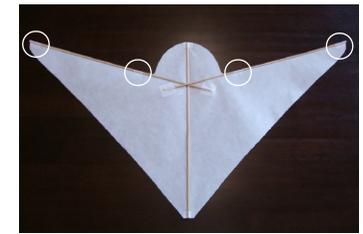
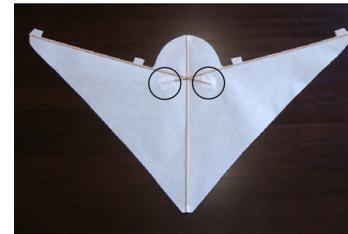
- 4 中心の骨が貼れたら、一番上と下の部分にノリを付けて折り返します。



- 5 セットになっている2本の斜め骨を貼ります。竹の皮の方（緑色の側）にノリを付、赤い印が外に来るように貼ります。図のように、翼の上端のラインに沿い、竹の端の角がピン穴にくるようにします。



- 6 補強紙にノリを付けて、斜めの骨の端に貼ります。
- 7 翼の上部にある折り返し部分にノリを付けて貼ります。



- 8 しっぽを付けます。3枚のしっぽ用の紙をノリで貼ってつなぎ、それを本体の下の部分に貼り付けます。



- 9 揚げ糸を付けます。真ん中どころの2つの穴に凧糸を通し、交差した3本の骨を束ねるようにくりつけます。はずれないようにしっかり結びつけましょう。



この凧は、風速2～6m/sの弱い風から普通くらいの風に適しています。風が強すぎると高度が下がったり安定が保たれなくなることがあります。